

IoT角度センサユニット PAKシリーズ 仕様

■ センサヘッド

標準タイプ

形 状	対応計器サイズ	サイズ	重 量	型 番
	φ75	直径 76mm 高さ 25mm	約80g	PAK14
	φ100	直径 101mm 高さ 25mm	約90g	PAK24
	φ150	直径 151mm 高さ 25mm	約110g	PAK34

■ 通信ユニット

標準タイプ

形 状	サイズ	重 量	型 番
	80mm ×60mm ×30mm	約110g	PAK04

■ オプション

センサヘッド・通信ユニット間延長ケーブル

形 状	サイズ	重 量	型 番
	2m	約70g	GP0014
	5m	約140g	GP0013

センサヘッドと通信ユニット間を延長する場合に使用します。
延長ケーブルを使用することでセンサヘッドと通信ユニット間を最大5.5mにすることができます。

■ 性能仕様

項 目	仕 様	備 考
測定間隔・通信間隔	10秒 / 1秒	10秒 / 1秒はDIP SW切替
精 度 目 安	±2% of F.S.	360度フルスケール (F.S.)
通 信 仕 様	Bluetooth	見通し距離 約100m
電 池 寿 命 の 目 安	約 5 年 (常温20℃)	通信間隔10秒のとき ※
使 用 周 囲 温 度	-20 ~ 60℃	氷結、結露無きこと
保 存 温 度	-20 ~ 70℃	氷結、結露無きこと
使 用 周 囲 湿 度	35 ~ 85%Rh	氷結、結露無きこと
対 環 境 性 能	IP67	IEC60529
仕 向 け 地	日本	

※ 電池寿命は環境や用途により短くなる場合がございます

株式会社 SIRC

〒541-0056 大阪市中央区久太郎町2-5-31 関電不動産船場ビル 901
※ 2024年7月1日よりビル名が変更になりました。

TEL 06-6484-5381

FAX 06-6484-5382

URL <https://sirc.co.jp>

Webサイトから
お問い合わせ



記載内容は発売時点の当社調べです。商品仕様は予告なく変更する場合があります。記載されている会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。本カタログに記載の記事・写真・図表などの無断転載を禁じます。



IoT角度センサユニット
PAKシリーズ



アナログメータが示す測定値を

デジタルデータに変換して常時記録。

設備の状況を遠隔で監視・点検できます。

製造業にDXをカンタン導入！

人材が不足する現代、DX(デジタルトランスフォーメーション)はあらゆる業種に共通する喫緊の課題です。IoT角度センサユニットPAKシリーズは、製造の現場においてアナログメータを使った機器を入れ替えることなく、カンタンにDXできる測定補助ツールです。

設備の予知保全・異常検知に

保全活動を補助

測定値の傾向から、設備の変化にいち早く気づけるので、適切なタイミングでメンテナンスできます。



異常の検知

設備が故障した場合、常時監視される測定値から異常を検知し、メールで通知*します。

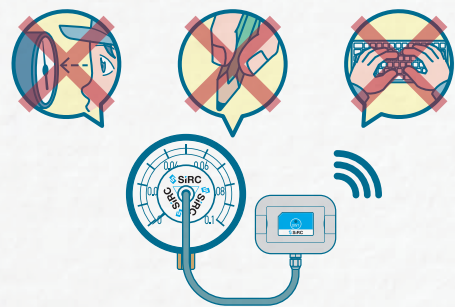


※ 異常検知時のメール発報は「SIRCクラウド」の機能です

点検作業の効率化・安全対策に

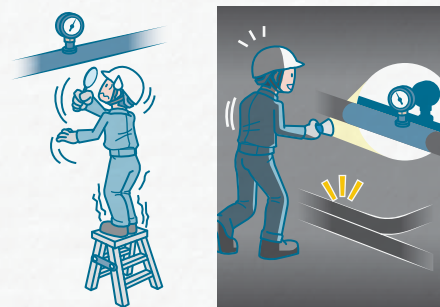
ヒューマンエラーを防ぐ

読み取りミス、転記ミス、入力ミス、点検漏れなど、人間が起こしうる様々なミスを回避できます。



作業者を事故から守る

高所や暗所など、作業に危険を伴う場所でのメータ点検作業を削減できます。



防爆仕様

可燃性物質を扱う、または空気中に可燃性ガスが存在する防爆エリアに対応したIoT角度センサユニットをラインアップ。可燃性ガスに接することなく、事務所PCからアナログメータの点検作業を行えます。

ZONE 1 (危険度1区域) に使用できる本質安全防爆構造
防爆等級: Ex ib IIB T4 Gb

本質安全
防爆構造



既設のアナログメータに、取り付けカンタン！

指針の中心軸に専用の磁石を取り付け、アナログメータのガラスを本機のセンサヘッドに交換するだけで、計器点検のデジタル化を実現できます。



電気配線不要

内蔵電池で5年間稼働し、データの通信は無線で行います。

通信快適！セパレート構造

測定データを送信する通信ユニットは、センサヘッドから最大5.5m*離して設置可能。機器レイアウトやメータの向きを変えなくても、良好な電波環境に通信ユニットだけを移動できます。

※ 延長ケーブルは別売です

目視での確認も可能

本機取り付け後も、メータの目盛りと指針の先端が目視できます。

SIRCクラウドでさらに便利

当社クラウドシステム「SIRCクラウド」なら、簡単にデータ収集・解析ができます。

現場ニーズに応える測定データの多彩な集計方法をご用意

クラウド上にデータを保存し、グラフ化やCSV出力、メール発報、API連携ができるクラウドシステム、データロガーとのLAN接続、ローカルのパソコンを使用したスタンドアローンシステムまで、現場のニーズに合わせて測定データの集計方法をお選びいただけます。

